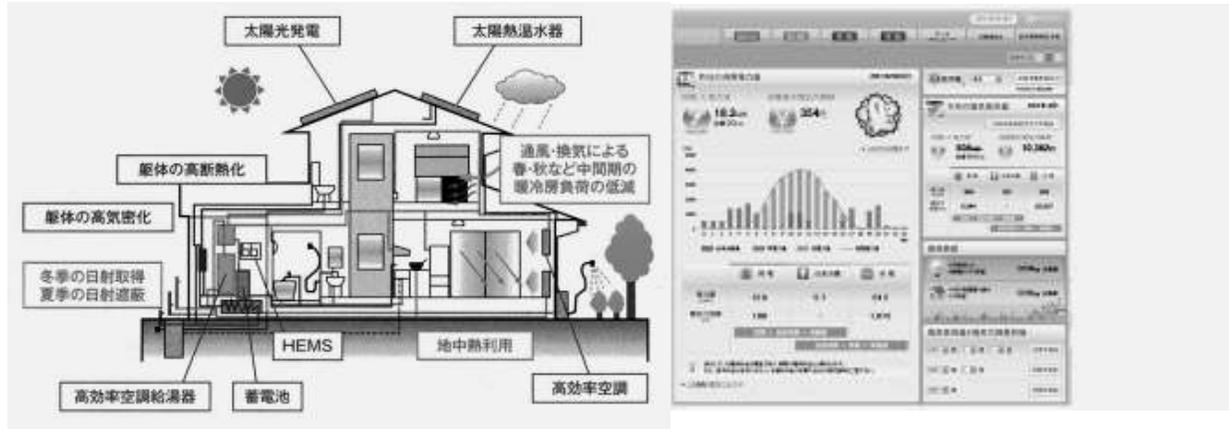


ゼロ・エネルギー住宅にチャレンジ！ スマートハウスってどんなもの？

地球温暖化防止のための低炭素社会の実現と、原子力発電所の運転停止による電力不足問題から、さらなる省エネと電力の効率的な利用をめざした技術開発がすすめられています。



1. スマートハウスとは

太陽光発電でエネルギーを「創る」、蓄電装置で電気を「蓄える」、エネルギー消費機器の適切な制御で消費量を「節約する」、情報をモニターで「見える化する」。これらを組み合わせて最適に住みこなすことを実現するのが「スマートハウス」です。

2. HEMS (ヘムス) とスマートメーター

HEMSとスマートメーターは、スマートハウスの要といえる機器です。HEMSは「ホーム・エネルギー・マネジメント・システム」の略で、家庭で使うエネルギーを「監視」や「遠隔操作」で管理し最適化します。一方次世代電力計のスマートメーターはエネルギーの利用状況を家庭と電力会社が把握し、制御するシステムです。

3. スマートハウスの現状

スマートハウスの認知度は35%とまだまだ低いのですが、すでに販売が始まっています。しかし、家電メーカーや設備機器メーカーがそれぞれ独自規格を設け製品化しようとしていたため、他メーカーの家電製品やエネルギー機器との接続が難しく、設置に高額のコストがかかること以上に、普及を妨げているとされています。

4. HEMS・スマートメーターの規格統一化

そこで、経済産業省は、2月24日にHEMSやスマートメーターの規格の統一化をはかるため、「エコーネットライト」を推奨規格として決めました。今後、この規格を採用したHEMSの導入補助金もスタートする見通しです。

スマートハウスの今後・・・

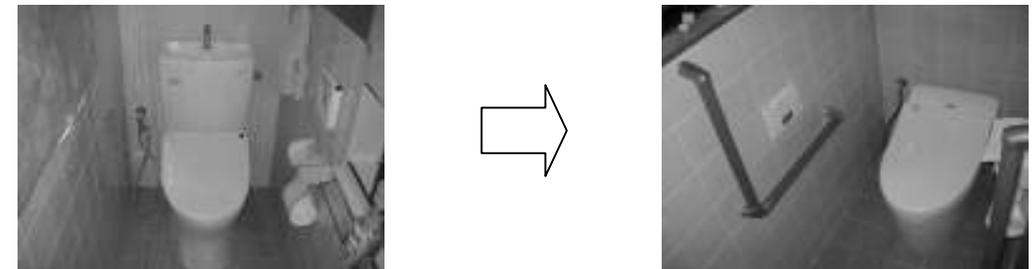
たとえば、ブラインド・換気扇・エアコンを連動して制御することでエアコンの消費電力を抑えたり、毎日の生活パターンを学習して給湯量の調整をしたり…建物全体のエネルギー供給や需要の状況を把握し、機器や設備の運転を効率的に行うことが出来るようになります。また、携帯電話などの端末から自宅の機器の遠隔操作が出来たり、家電製品ごとの電力使用量を把握出来たり、センターから集積されたデータに基づく節電のアドバイスを受けることも可能になります。

長期優良住宅現場情報

S邸の本体工事が完了しました。現在は外構工事を施工中です。



リフォーム現場情報



今回は、トイレのリフォームです。従来型(13ℓ洗浄)のトイレを超節水型(3.8ℓ洗浄)に取替えました。毎回9.2ℓも節水できます。



ただいま当社の周辺は下水工事が急ピッチで進んでいます。下水の接続にあわせて節水型に取り替えませんか？

